

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会
会 長 佐々木 高至

向暑の候、北海道高等学校教育研究会の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。平成 26 年 11 月 20 日、中央教育審議会に示された「初等中等教育における教育課程の基準等のあり方について（諮問）」では、今の子ども達が成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業の在り方そのものが大きく変化する可能性があること、我が国の将来を担う子どもたちには、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けることが求められること、そのために、教育の在り方も一層進化させる必要があることが指摘されています。さらに、学ぶことと社会とのつながりを意識し、「何を教えるか」という知識の質・量の改善に加え、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視する事が必要であり、学びの成果として「どのような力が身についたか」という視点を重視する事が重要であると述べられています。審議事項の柱の一つとして、課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）の充実があげられ、「アクティブ・ラーニング」は、グローバル化の進展に対応し得る「英語教育」とともに、いま、全国的に大きな話題を呼んでいます。

子ども達が新しい時代に生きるために必要な資質・能力は時代とともに変化し、その変化に私たちは対応しなければなりません。ここ数年、国の示す教育制度改革は、ものすごいスピードで打ち出され、待たなしの状態です。私たちは、時代の流れと共に変化していく日本の教育の担い手として、未来に向かう生徒たちの夢や希望を達成するための支援ができるよう、日々研鑽する必要があります。

本研究会「高教研」は、北海道高等学校長協会のもとに組織され、昭和 39 年(1964 年)1 月に初めて開催され、今年で 53 年目を迎えます。先輩の皆様の並々ならぬ熱意と取り組みによって築き上げてきた伝統ある研究会を会員の皆様とともに発展させていかなければならないと考えています。

この大会は、全体会(第 1 日目)と各教科部会(第 2 日目)で構成されています。第 1 日目に実施される全体会は、日本の学問や芸術の代表として最先端を歩まれておられる著名な方々にご講演をお願い申し上げ、毎年貴重なご示唆を頂いているところです。今年度は、平成 28 年 1 月 7 日(木)に開催され、前述したアクティブ・ラーニング等の先進的な取り組みを研究されている CoREF 副機構長三宅なほみ氏を講師に迎える予定でしたが、先に各会員にお知らせしたとおり、志半ばでご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。後任の講師については、「アクティブ・ラーニング」「高大接続」「キャリア教育」などをめぐって、学校教育の社会的機能について各方面で示唆的な発言をされ、注目を集めている溝上慎一氏(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)にご快諾いただきました。

この事業は、事業費のほとんどが皆様の会費によって運営されてきましたが、生徒数減少による学校統廃合の影響が大きく、毎年会員数が減少しています。昨年度は、経費削減を実行しながら、協賛金を募って運営することとしました。幸いなことに、多くの先生に会員になっていただき、協賛金も順調に集まり、質の高い研究会を実施することができました。

今後も、北海道高等学校教育研究会が、全道各地からそれぞれの分野でご活躍されている皆さんが一堂に会し、相互の活発な交流等により、知見が得られ資質向上の一助になること、また、明日への活力になること、そして北海道教育を豊かにする人と人を繋ぐ機会となることを願い、あいさつと致します。

平成27年度 総会報告

5月11日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。

全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成26年度事業の実施報告・平成27年度事業計画の審議、役員の改選、研究協議が行なわれました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 平成26年度 事業実施報告

- ア 会報 第101号発行 (平成26年7月)
- イ 大会案内発行 (平成26年11月)
- ウ 大会要項発行 (平成27年1月上旬)
- エ 第52回北海道高等学校教育研究大会報告
 - 第1日目 全体集会 (平成27年1月9日) ニトリ文化ホール
 - 第2日目 教科別集会 (平成27年1月10日) 各会場
- オ 研究紀要 第52号発行 (平成27年3月16日)
- カ 会報 第102号発行 (平成27年3月16日)

(2) 平成27年度 事業計画

ア 第53回北海道高等学校教育研究大会

全体集会

期 日 平成28年1月7日(木)

会 場 ニトリ文化ホール

研究主題 未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準備	受付	開会式	講演

運 営 大会役員

講 演

講 師 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授
(兼任) 大学院教育学研究科(高等教育開発論講座)

溝上 慎一 氏

演 題 未定

司 会 者 後志支部 北海道真狩高等学校 教頭 重堂法人

全体講演講師 溝上 慎一 氏 プロフィール

専門は青年心理学(自己・アイデンティティ形成/分権的自己観/現代青年期)、高等教育(現代大学生論/の学びと成長/学校から仕事へのトランジション/アクティブラーニング/キャリア形成)など。

1970年生まれ。神戸大学教育学部卒業。1996年より京都大学高等教育教授システム開発センター・助手、2003年京都大学高等教育研究開発推進センター・准教授、2014年より現職。京都大学博士(教育学)。

「アクティブ・ラーニング」「高大接続」「キャリア教育」などをめぐって、学校教育の社会的機能について各方面で示唆的な発言をされ、注目を集めている。



教科別集会

期 日 平成28年1月8日(金)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概要)

	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究討議	昼食 (休憩)	講演又は 研究討議	部会・総会	

部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科事務局で発送)

平成27年度 北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語	札幌コンベンションセンター 204会議室	国語教育の継承と発展 ～ 想い、結び、伝えることばの力を育む～
地歴・公民	北海道有朋高等学校	課題意識を持ち、主体的に学び考える力を育む学習課題の工夫・改善
数 学	エルプラザ または ポリテクセンター	言語活動を充実し、確かな学力を確立する数学教育
理 科	市立札幌大通高等学校	科学的な自然観を育成するための理科教育 日常生活や社会との関連を図る指導法の研究 科学的に探究する能力と態度を育てるための観察、実験の開発
保 健 体 育	道立総合体育センター(きたえる)	遅い生徒を育てる授業を求めて
養 護	札幌市教育文化会館	現代的な健康課題の解決と学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌大谷大学	豊かな感性を拓く芸術教育
英 語	札幌大学	21世紀に生きる地球市民を育む英語教育 English Education in the 21st Century: Fostering Global Citizenship ～ 新しい流れに対応する授業をめざして～ ～ In Pursuit of New Wave of English Teaching～
家 庭	札幌エルプラザ または 札幌市民ホール会議室	生涯を見通して生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	センチュリーロイヤルホテル	北海道の次代を創る新しい農業教育の推進 学校農場の活用と農業クラブ活動を推進した専門教育の充実
工 業	札幌全日空ホテル	新しい時代を切り開く工業教育の創造と実践
商 業	札幌市教育文化会館	未来を拓く有意な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	先生も生徒も、みんなが幸せになれる評価の研究 「やらなければならない」から「やると楽しい」への移行

参加料 会員2,000円 非会員3,500円 一般 1,000円(全体集会)1,500円(教科別集会)

高等学校教員は全体集会のみ、教科集会のみ参加でも参加料は同じです。

また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要 第53号発行

発 行 平成28年3月

ウ 会 報 第103号、第104号 発行

第103号 発行：平成27年7月 内容：平成27年度総会報告

第104号 発行：平成28年3月 内容：第53回研究大会報告及び第53回研究大会の概要について

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

原稿募集の種類(ア)教科は、1教科につき 25,000字以内〔横書き 横25文字 1,000行〕

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ)教育一般は、1編につき 25,000字以内〔横書き 横25文字 1,000行〕

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

日 程

執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8月25日(火)

執筆者本部決定 9月9日(水) 原稿提出締切 10月20日(火)

全体講演の歩み

～ 第25回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
25	昭62	野坂 昭如 (作家) 小松 作蔵 (札幌医科大学副学長)	近ごろ思うこと 心臓移植をめぐる
26	昭63	多胡 輝 (千葉大学教授) 美濃 羊輔 (帯広畜産大学教授)	日本人と創造性 バイオテクノロジーの現状と問題点
27	平元	金田一春彦 (文学博士) 高橋 良治 (釧路市丹頂鶴自然公園園長)	日本人の心 タンチョウの四季
28	平2	菊地 元市 (青山学院大学法学部長) 高畑 直彦 (札幌医科大学神経精神科教授)	経済法秩序における公正としての正義 - 日米構造協議を中心に - 心の危機と反応
29	平3	なだいなだ (精神科医 作家) 坂本 与市 (北海道文理短期大学学長)	心の底をのぞく オスとメスのエソロジー
30	平4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燐子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～ 対数誕生物語
45	平19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 - グローバリズムに抗して
50	平24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～ 挑戦することの大切さ
52	平26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ ホスピタル・クラウンの現場から～

平成27年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

(役員)

会 長	佐々木高至	(札幌旭丘)			
副 会 長	白野 勝義	(札幌琴似工)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	家近 昭彦	(札幌北)			
	尾崎 寿春	(札幌平岸)			
監 事	石黒 清裕	(札幌開成)			
	相澤 英樹	(札幌東商業)			
顧 問	尾崎 信夫	染谷 昌志	綾井 健二	武田 泰明	
	田村 勸	島 隆	青塚 健一	金間 正克	
	宮浦 俊明	守屋 開			

(地区支部長)

(石狩)	澤口 文裕	(札幌白石)
(道南)	小島 和明	(函館工業)
(後志)	鎌田 到	(真狩)
(空知)	松原 秀道	(砂川)
(オホーツク)	田村 二郎	(旭川凌雲)
(道北)	土田 聖司	(網走桂陽)
(釧根)	生田 仁志	(標茶)
(十勝)	山崎 雅明	(芽室)
(日胆)	五十嵐 晋	(壮瞥)

(教科部会長)

(国語)	東谷 一彦	(札幌平岡)
(地歴・公民)	宮田日出夫	(有朋)
(数学)	鈴木 晃	(札幌啓成)
(理科)	政野 仁	(岩見沢東)
(保健体育)	谷坂 常年	(恵庭南)
(養護)	大鐘 秀峰	(札幌北)
(芸術)	山本文朗	(札幌厚別)
(英語)	阿部 正行	(千歳)
(家庭)	小松 芳幸	(江別)
(農業)	二木 浩志	(静内農業)
(工業)	白野 勝義	(札幌琴似工業)
(商業)	飯野 修一	(札幌啓北商業)
(水産)	村松 裕史	(小樽水産)
(情報)	毛内 顯史	(平取)

(事務局)

事務局 長	林 恵子	(札幌旭丘)		
事務局 次長	阿部 孝則	(札幌旭丘)	上家 浩幸	(札幌旭丘)
	春木 孝之	(札幌旭丘)	成田 英行	(札幌旭丘)

平成27年度地区支部、教科部会事務局

[地区支部事務局]

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	札幌白石	佐藤 涉	003-0859	札幌市白石区川北2261番地	011-872-2071	011-872-2072
道南	函館工業	斉藤 穰	041-0844	函館市川原町5番13号	0138-51-2271	0138-51-2273
後志	真狩	重堂 法人	048-1611	虻田郡真狩村字光6番地	0136-45-2357	0136-45-3514
空知	砂川	仲見 孝仁	073-0122	砂川市吉野2条南4丁目1番1号	0125-52-3168	0125-52-3169
道北	旭川凌雲	柴山 真純	079-8508	旭川市永山町3丁目102番地	0166-47-6006	0166-47-6109
オホーツク	網走桂陽	泉田 正弘	093-0084	網走市向陽ヶ丘6丁目2番1号	0152-43-2930	0152-43-3087
釧根	標茶	菅原 光男	088-2313	川上郡標茶町常盤10丁目1番地	015-485-2001	015-485-2067
十勝	芽室	佐藤 康則	082-0801	河西郡芽室町東めむる1条北1丁目6	0155-62-2624	0155-62-2624
日胆	壮瞥	鎌田 祐一	052-0101	有珠郡壮瞥町滝之町235-13	0142-66-2456	0142-66-2636

【教科部会事務局】

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	札幌新川	遠藤 彰	001-0925	札幌市北区新川5条14丁目1番1号	011-761-6111	011-761-7911
地歴・公民	有朋	佐々木雅康	002-8504	札幌市北区屯田9条7丁目	011-773-8200	011-773-8300
数学	札幌啓成	梶谷 拓人	004-0004	札幌市厚別区厚別東4条8丁目6番1号	011-898-2311	011-898-2313
理科	札幌北	中道 洋友	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
保健体育	恵庭南	山石 裕司	061-1412	恵庭市白樺町4丁目1番1号	0123-32-2391	0123-32-5500
養護	札幌北	関 澄恵	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
芸術	札幌厚別	土井 泰志	004-0069	札幌市厚別区厚別町山本750番15	011-892-7661	011-892-7799
英語	千歳	飯田 知男	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌新川	柿澤小百合	001-0925	札幌市北区新川5条14丁目1-1	011-761-6111	011-761-7911
農業	静内農業	仲川 敏幸	056-0144	日高郡新ひだか町静内田原797番地	0146-46-2101	0146-46-2151
工業	札幌琴似工業	笠西 浩史	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	久保 一明	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	新川 智憲	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌新川	杉本 式史	001-0925	札幌市北区新川5条14丁目1番1号	011-761-6111	011-761-7911

〔部会長校〕 国語(札幌平岡) 理科(岩見沢東) 家庭(江別) 情報(平取)

平成 27 年度 会員登録状況

・追加登録は6月19日(金)～10月16日(金)です

(平成 27 年 7 月 10 日)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	103	121	110	126	97	34	47	145	33	2	24	58	1	25	926	955
道南	20	19	16	13	12	5	8	20	8	7	4	8	38	1	179	183
後志	6	11	14	6	7	2	4	13	3	16	3	8	34	4	131	126
空知	11	12	16	13	12	2	7	15	6	18	5	11	0	1	129	166
道北	29	33	29	28	18	8	6	40	3	28	13	23	0	3	261	271
オホーツク	15	17	14	18	17	3	6	25	9	7	4	17	0	1	153	158
釧根	21	13	18	23	9	2	9	19	3	13	4	8	10	4	156	146
十勝	8	12	11	9	10	5	5	18	6	34	6	4	0	1	129	110
日胆	19	20	25	17	11	4	8	19	6	12	7	9	0	2	159	168
合計	232	258	253	253	193	65	100	314	77	137	70	146	83	42	今年度 2,223	
前年合計	236	278	261	261	224	70	108	321	70	124	66	138	76	50	前年度 2,283	

会員数の推移

年度	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26
会員数	4,167	3,849	3,686	3,595	3,521	3,466	3,362	3,232	3,142	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283

事務局から

今年度の全体集会では、今、教育界で熱い視線を集めているアクティブ・ラーニングについての講演を実施したいと考え、各方面のご協力をいただきながら講師を選任いたしました。運営面でも、昨年に引き続き道内の大学や出版社、予備校等にご支援をいただき、準備を進めているところです。先生方の研修の場としての高教研の存在意義と、高教研が北海道の高校教育を牽引していくことへの周囲の期待とが、ますます高まっていると感じています。お一人でも多くの方に会員登録していただき、お誘い合わせてご参加くださることを期待しています。新年1月にニトリ文化ホールでお会いしましょう。

発行 平成 27 年 7 月
 北海道高等学校教育研究会本部事務局
 〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘 6 丁目 5 番 18 号
 北海道札幌旭丘高等学校内
 TEL 011-513-2238 FAX 011-513-2244
 Eメールアドレス info@d-kokyoken.jp